

企画展

ジャングルにひそんで28年 横井庄一さんの くらしの道具

平成27年10月17日(土)－11月29日(日)



グアム島で発見された直後の横井さん
(横井庄一記念館提供)



横井さんが作った洋服と
背負い袋(正面)

今から43年前、グアム島のジャングルにて

昭和47年(1972)1月24日、グアム島のジャングルで、1人の日本人が発見されました。愛知県出身の元日本兵横井庄一さんがその人でした。2月2日に帰国された横井さんの第一声は「恥ずかしながら生きて帰ってまいりました。」というものでした。この言葉に、多くの国民は驚きとともに、「生きて^{りょしゅう} 辱め^{はずかし}を受けず」と出征兵士に教えた『戦陣訓』を蘇らせます。

平成27年10月17日(土)～11月29日(月)

昭和16年(1941)に二度目の召集を受けた横井さんは、昭和19年(1944)3月に中国からグアム島に派遣され、7月にはグアム島に上陸してきたアメリカ軍と戦っていました。8月には、アメリカ軍に押されて日本軍は散り散りになり、仲間とともに、横井さんはジャングルへ逃げ込みました。それから発見されるまでの28年間、横井さんはグアム島のジャングルに隠れ続けたのです。

植物の繊維から服をつくる

グアム島で発見されたとき、横井さんは自分で作った服を着ていました。横井さんは、グアム島に自生している植物の繊維から糸を紡ぎ、布を織って、服をつくりました。竹を編んでウナギやエビをとる籠を作ったり、ヤシの殻の繊維でロープを編んだりしました。



帰国後、横井庄一さんが復元した織機

本年は横井さん生誕100年！

これらの衣服や道具の多くは帰国後に名古屋市に寄贈されました。大正4年(1915)生まれの横井庄一さんは平成27年(2015)に生誕100周年を迎えます。この機会に、横井さんがグアム島で用いていた生活用具を展示します。



グアム島での生活道具(金属製品)

戦前・戦中のポスターも展示

あわせて、戦前・戦中を中心に市民のくらしの道具や、愛知県・名古屋市内に掲示された各種のポスターによって当時の世相を、そして、兵役、軍属や徴用、学徒動員や学童疎開など、年齢や性別を問わず市民が置かれた、戦争との関わりを振り返ります。



戦時中のポスター

横井庄一さんの 本展覧会のみどころ 暮らしの道具

平成27年10月17日(土)ー11月29日(日)

つくる喜びと生きるちから



横井さんが作った洋服と背負い袋(背面)

横井さんのたくましい暮らしぶりは、「サバイバル」の代名詞とさえなっています。しかし、横井さんは、「服ができてからよりも、作っているときの方が幸せだった。」と、ものづくりの充実感、毎日なすべき仕事があるという生きがいの大切さを話していました。また、一つずつ道具が増え、暮らしが充実していく喜びは横井さんの心を支えたことでしょう。

これらの衣服や道具は、ゴム島のジャングルでの暮らしのようすを物語るとともに、人が生きていく上で大切なことも伝えてくれます。

おもな展示品

横井庄一さんのゴム島での生活道具

昭和48年(1973)に厚生省援護局から横井庄一さんに還付され、即日名古屋市に寄贈された、横井さんがゴム島で使用していた暮らしの道具64件92点全てを展示します。

この中には、帰国後東京の病院で復元されたものや、横井さんの記憶にはないというものも含まれています。横井さんのゴム島での暮らしは、何も無いところから暮らしに必要なものを作り出した、いわば「資源を発見する」暮らしでもありました。ゴム島の身の回りの資源を活かした横井さんの暮らしの道具を紹介します。



ゴム島での生活道具(木製品)

名古屋市民の生活を支えた「代用品」

横井さんが中国やゴム島へ出征していた時期、戦時下の名古屋市民の暮らしもあらゆる物資が不足していました。物資不足を改善しようと国家を挙げて取り組んだのが「代用品」です。それまで金属製品だったものが陶器に代わり、日常生活において不便を強いられました。戦中から戦後の市民生活を支えました。



戦中戦後に使われた代用品など

関連イベントのご案内 暮らしの道具

平成27年10月17日(土)～11月29日(日)

展示説明会

日時 平成27年11月1日(日)午後2時から

会場 名古屋市博物館 1階 展示説明室(先着100名 入場無料)

講師 竹内 弘明(当館調査研究員)

はくぶつかん講座 第8回「学童疎開日記を読む」

日時 平成27年11月14日(土)午後2時から

会場 名古屋市博物館 1階 展示説明室(先着100名 入場無料)

講師 竹内 弘明(当館調査研究員)

開催概要

展覧会名 名古屋市博物館企画展

「ジャングルにひそんで28年 横井庄一さんの暮らしの道具」

会 期 平成27年(2015)10月17日(土)～11月29日(日)

開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)

休 館 日 10月19日(月)・26日(月)・27日(火)

11月2日(月)・9日(月)・16日(月)・24日(火)

観覧料金 一般 300(400)円 高大生 200(300)円 中学生以下無料

市内在住の65歳以上 100(200)円 ※敬老手帳等の提示が必要
他の割引との併用はできません

※()内は常設展との共通料金。

※名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用して来館された方は50円割引。

※身体等に障害のある方は手帳の提示により、本人と介護者2人まで料金無料。

※各種割引は重複してご利用いただくことはできません。

※30名以上の団体は割引があります。お問い合わせください。

主 催 名古屋市博物館

お問い合わせ先

名古屋市博物館(学芸課・横井庄一さん係)

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

電話 (052)853-2655 FAX (052)853-8400

E-mail: ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp

名古屋駅から17分(地下鉄桜通線名古屋～桜山間)
地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口から徒歩5分

広報用 作品画像・読者プレゼントチケット 申請書

名古屋市博物館企画展

「ジャングルにひそんで28年 横井庄一さんのくらしの道具」

平成27年(2015) 10月17日(土)～11月29日(日)

広報用画像の使用は、企画展「ジャングルにひそんで28年 横井庄一さんのくらしの道具」を紹介する場合に限ります。展覧会終了後の広報用画像の使用、または二次利用はお断りします。広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名・クレジットを必ず記載してください。広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせを行う場合は事前に申請の上、承諾が必要となります。掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で下記のお問合せ先までお送りください。

貴社についてお知らせください

貴社名	媒体名
ご住所	
ご担当者名	所属部署
TEL	FAX
E-mail	

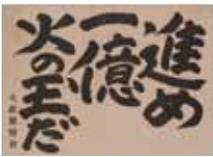
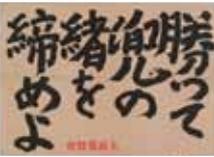
ご掲載・放映の予定日が決まっておりましたらお知らせください。 年 月 日

【個人情報の取扱いについて】
 ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合にのみ使用します。許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を1点以上掲載し、本展をご紹介いただける場合、希望する 組 名分
 読者向けチケット(5組10名分まで)を提供します。希望しない
 ※原則として掲載紙・誌が博物館に到着し、確認させていただいてから発送いたします。

希望される画像のに✓してください。

※資料名など写真のキャプションは記載のとおりに表示してください(改行は適宜行って構いません)

1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
 <p style="font-size: small;">横井さんが作った洋服と背負い袋(正面) 名古屋市博物館蔵</p>	 <p style="font-size: small;">横井さんが作った洋服と背負い袋(背面) 名古屋市博物館蔵</p>	 <p style="font-size: small;">グアム島での生活用具(金属製品) 名古屋市博物館蔵</p>	 <p style="font-size: small;">グアム島での生活用具(木製品) 名古屋市博物館蔵</p>	 <p style="font-size: small;">帰国後、横井さんが復元した織機 名古屋市博物館蔵</p>
6 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>
 <p style="font-size: small;">グアム島で発見された直後の横井さん 横井庄一記念館提供</p>	 <p style="font-size: small;">戦中戦後に使われた代用品など 名古屋市博物館蔵</p>	 <p style="font-size: small;">戦時中のポスター 名古屋市博物館蔵</p>	 <p style="font-size: small;">戦時中のポスター 名古屋市博物館蔵</p>	 <p style="font-size: small;">戦時中のポスター 名古屋市博物館蔵</p>

お問い合わせ先

名古屋市博物館 学芸課

名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 Tel 052-853-2655 / Fax 052-853-8400 / E-mail: ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp